

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2003年4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

4度目の出場で信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)が日本一に ～総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞第5回日本太鼓ジュニアコンクールを開催～



(優勝した信濃国松川響岳太鼓子供会)

(財)日本太鼓連盟主催、(財)日本太鼓連盟山梨県支部主管による総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞第5回日本太鼓ジュニアコンクールを3月23日(日)山梨県甲府市の山梨県立県民文化ホールにおいて開催いたしました。全国32都道府県(273チーム・3,579名)から選抜された38団体466名(平均年齢13.6才・最年少5才)が出場し、その腕を競いました。開会式は、優勝旗を持った前年度優勝チーム山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)を中心に出場全38チームがステージに整列して行われました。国歌斉唱に続き、(財)日本太鼓連盟津田会長、(財)日本太鼓連盟山梨県支部深沢支部長より挨拶、来賓を代表し、山梨県原野県民室長よりご挨拶を頂きました。続いて、前年度優勝チームの山川ツマベニ少年太鼓より優勝旗、優勝杯が返還され、チームには優勝杯レプリカと太鼓一鼓(1尺6寸)が贈呈されました。

静岡県代表富岳太鼓の山内勇人君が出場者を代表して「日本の伝統文化を重んじ、日頃の稽古の成果を、力一杯演奏することを誓います」と力強い選手宣誓を行い、当財団小口副会長による「初っ切り太鼓」を皮切りにコンクールは始まりました。

当日は晴天に恵まれ、全国大会を一目見ようと会場は約2,000名の観客で満席となりました。郷土を

代表して各チームとも素晴らしい演奏を披露し、場内からは出場者たちはつらつとしたバチさばきに大きな拍手と歓声が送られていました。

閉会式では、世界的に有名なシンセサイザー奏者であり、太鼓にも精通している喜多郎審査委員から、「太鼓の音が耳だけでなく、心にまで響いた」、また、塩見審査委員長より、「技術レベルが上がったのは嬉しいことだが、今後はそれに心がついているか」ということも見ていきたいとの講評がありました。続いて、審査結果が発表され、今回で4度目の出場となる信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)が総務大臣杯の栄冠に輝きました。今回から設けられた文部科学大臣奨励賞は、ゆふいん源流少年隊(大分県)が第2位との同時受賞となりました。

また、翌24日(月)には特別講習会が行われました。これは、ジュニアコンクール出場団体のチームクリニックとして実施したものです。希望のあった神奈川県立中央農業高等学校和太鼓部(神奈川県)、山梨県立園芸高等学校すいれき太鼓部(山梨県)の2チームが古屋技術委員長から基本を中心とした厳しい指導を受けました。また、両チームの指導者も特別講習会に参加し、今後の指導に活かしていくとの感想がありました。

本コンクールにおいて、お忙しいなか、厳正な審査をしていただいた審査員の先生方、審査の間、観客を魅了する演奏を披露していただいた特別出演チームの方々、また全国より町ぐるみで応援に来て下さった父兄の皆様、そして本コンクールの開催にご協力いただきました240名におよぶ山梨県支部スタッフの皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

*なお、次回の第6回大会は、2004年3月21日(日)に岐阜県羽島市(羽島市文化センター)において開催を予定しています。

第5回日本太鼓ジュニアコンクールに優勝して 長野県代表 信濃国松川響岳太鼓子供会 代表 平林 重宏

このたび、第5回日本太鼓ジュニアコンクールに優勝できましたこと、関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。我々は信州安曇野松川村で太鼓を楽しむ仲間です。1986年御諏訪太鼓小口大八宗家の門を叩き、以後創作太鼓集団として活動してまいりました。現在、100名近くの会員があり、内子供会は太鼓を愛する少年少女が集い、42名で活動しております。

チームの目指すものは“血湧き、肉踊る気持ち”を太鼓で表現し、汗をかき大きな声を出し、見る人聞く人の心に残る太鼓を楽しく打ち鳴らすことです。長野県予選大会を勝ち抜き、今回が4度目の全国大会となりましたが、自由曲は響岳太鼓伝統のオリジナル曲「化心」でチャレンジしました。

速いリズム、桴さばき、そして般若の舞で私たち響岳太鼓を、さらには私たちのふるさと信州を表現出来たものと思います。子供たちは心を一つにして太鼓を打ち鳴らし、コンクールのステージを全身で楽しませていただきました。出場選手はもとより、子供たち、保護者会、長野県支部、そして村を上げて本コンクールでの優勝を心より喜びました。また、優勝という成績に傲ることなく、もう一度基本にもどり、日本の伝統文化である太鼓に取り組み、地域づくりの一助となるべく奮闘することを誓いました。

コンクールで良い成績をとることは、大切な目標のひとつではありますが、一番の目的である「健全な心づくり」を大切に今後も礼儀正しく、明るく楽しく手を取り合った「和」の太鼓を創造してまいりたいと思います。

最後になりましたが、コンクールでは、大勢の皆様方に本当にお世話になりました。長野県予選から全国大会出場までは長野県支部の皆様、そして、全国大会では（財）日本太鼓連盟の皆様及び山梨県支部の皆様、本当にありがとうございました。

今後は、皆様への感謝の気持ちを太鼓で表現してまいりたいと思います。

今後とも皆様方の叱咤激励の程、よろしくお願い申し上げます。

全国大会優勝によせて

松川村 村長 茅野 德則

松川村は北アルプスの麓、美しい清流と田園の里・安曇野に位置し、健やかな青少年育成に取り組んでいます。その様な中、十余年前に産声を上

げた松川響岳太鼓は年々その実力を上げ、念願であります総務大臣杯を手にするまでにいたりました。村始まって以来の快挙であり、日本太鼓連盟の皆様をはじめ関係各位のご指導・ご鞭撻に深く感謝しております。現在、学校教育は週休2日制の時代を迎え、その余暇における社会教育活動が重要視されてきております。あわせて邦楽器の授業を教科の中に取り入れるなど和太鼓は更にクローズアップされてきております。単に数字や単語を詰め込む学習ではなく、自分で考え、個性を伸ばしていくことが必要とされており、和太鼓はその先端を行く場を提供してくれております。

全国大会での子供たちの演奏を毎年観るたび深く感動を覚えております。その全国大会という強豪出揃う大きな舞台の中、松川響岳太鼓の子供たちも重圧と戦い一生懸命の演奏を見せてくれました。地域の誇りであるとともに文化継承・人材育成の面からも頼もしく感じております。全国大会での審査では太鼓の技法のほかに、チームワーク・礼儀作法・振舞い等日頃の生活態度から滲み出る部分も審査されることが多いので、その様な中で優勝の栄冠を手にすることは教育の根本である「健全な精神づくり」が実践されていることの成果であると確信しております。

今回の優勝ということで満足することなく、今後更に努力し続けて欲しいと思います。「成長」ということに終わりではなく、誰もが命ある限り成長を続けていきます。さらに大きな人間として成長していってくれることを願っています。

今後とも、関係各位の皆様にはさらなるご指導をよろしくお願ひします。

＜テレビ・新聞で広く紹介＞

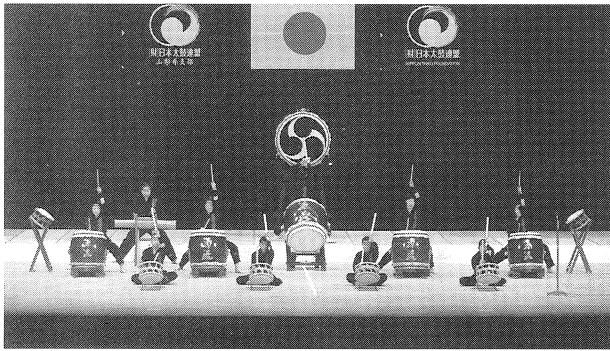
今大会の模様が4月5日（土）に山梨放送で、30分の特別番組として紹介されました。さらに、同放送で3月17日にニュース特集として地元チームの練習風景が、NHKテレビ等では当日の模様が放映されました。また、山梨日日新聞、産経新聞、雑誌「モーストリー・クラシック」などに大会の模様や審査結果が掲載されました。特に山梨日日新聞には、このほか紹介記事をはじめ、数多くの大会関連記事が掲載されました。



(山梨放送)



(産経新聞)



(文部科学大臣奨励賞に輝いたゆふいん源流少年隊)

第5回日本太鼓ジュニアコンクールに参加して 山梨県代表 山梨園芸高等学校すいれき太鼓部

2年 三ツ石 梢

私たち「すいれき太鼓部」は、平成13年全国高等学校総合文化祭に参加しました。それ以来の全国大会です。大会への出場が決まって、練習にも精神的にも燃えていました。

また、山梨園芸高等学校の生徒が40人もスタッフとして参加してくれ大変感謝しています。

大会当日、どのチームもすごく見えて、小さくなりそうでした。しかし、これまで応援してくれた方々、大変なのにスタッフとして参加してくれた仲間のためにも、思い切った演奏で恩返ししたかったです。自分たちが後悔したら、応援してくれた方々に申し訳がない。そんな想いでした。入賞はしませんでしたが、部が一つになった感じています。楽しく演奏できました。

1年 飯寄 一貴也

全国大会に出場できるのは15名です。残念ながら演奏することはできませんでしたが、スタッフとして参加しました。スタッフは1分間にセッットしなければならないので、大変ハラハラしました。最初の内は、それほど大変ではなかったのですが、後になって疲れがたまってきました。足が痛くなり立っていられない状況でした。他のスタッフに励まされ頑張ろうと思いました。よい経験になりました。



(閉会式風景)

入賞チーム

優 勝・総務大臣杯

信濃国松川響岳太鼓子供会（長野県）

第2位・文部科学大臣奨励賞

ゆふいん源流少年隊（大分県）

第3位 共栄太鼓風雅（石川県）

第4位 人吉ねぶか太鼓（熊本県）

第5位 やまばと太鼓（秋田県）

特別賞

山梨県教育委員会委員長賞

江別見晴台鼓樂会豊太鼓（北海道）

山梨県議会議長賞

日本航空高等学校太鼓隊（山梨県）

甲府市長賞

和紙の里 和雅美太鼓（福島県）

(社) 山梨県社会福祉協議会会长賞

北見オホーツク太鼓「青虎天真」（北海道）

(社) 山梨県老人クラブ連合会会长賞

おおむら太鼓連くじら太鼓（長崎県）

山梨県芸術文化協会会长賞

華太鼓ふじ組（宮崎県）

(社) 山梨県観光物産連盟会長賞

利府太鼓（宮城県）

山梨県商工会連合会会长賞

掛合太鼓保存会 和童（島根県）

甲府市教育委員会委員長賞

龍連山太鼓道場「纏組」（山形県）

甲府商工会議所会頭賞

磨墨太鼓保存会（岐阜県）

審査委員

池田 庄作 財団副会長

岡田 知之 洗足学園音楽大学教授

小口 大八 財団副会長

喜 多 郎 演奏家

塩見 和子 審査委員長・財団理事長

ジョージ・川口 ドラマー

西角井正大 実践女子大学教授

古屋 邦夫 財団技術委員会委員長

(五十音順・敬称略)

特別出演

山川ツマベニ少年太鼓 (鹿児島県)

(前年度優勝チーム)

甲州ろうあ太鼓 (山梨県)

山梨県太鼓連盟合同チーム (山梨県)

指導員・認定員の資格取得者が3,000名を突破

～第16回日本太鼓全国講習会（宮崎県清武町）～

第16回日本太鼓全国講習会が2月15・16日の両日、全九州太鼓連合、宮崎県支部が主管となり宮崎県清武町文化会館を中心に行われました。講習会には地元宮崎県をはじめ、全国20都道府県から196名の受講者が参加しました。開講式では財団を代表して塩見理事長、主管団体である全九州太鼓連合長谷川会長、宮崎県支部岩切支部長がそれぞれ挨拶、落合清武町長より歓迎の言葉がありました。

午後からは、一流の講師による厳しい指導が行なわれ、受講生たちは真剣な眼差しで太鼓に向かっていました。翌日の成果発表では3つの専門講座で技術を習得した受講生による演奏が行なわれ、その上達ぶりを披露しました。

なお、この講習会には日本財団が取材に訪れ、4月8日に東京で行われた「助成金交付式・春の交流会」において、1,000名近くの参列者にその模様が紹介されました。



(締太鼓講座)

○専門講座

御諏訪太鼓講座 講師 小口 大八氏

助六太鼓講座 講師 今泉 豊氏

締太鼓講座 講師 長谷川 義氏

○基本講座

総合指導 講師 古屋 邦夫氏

3級基本講座 講師 安江 信寿氏

4級基本講座 講師 若山 雷門氏

5級基本講座 講師 松枝 明美氏

講師 松元 和敏氏

◇技術認定員検定試験の結果は次の通りです。

1級検定 15名受検 13名合格（3名認定）

2級検定 13名受検 13名合格（4名認定）

3級検定 32名受検 25名認定

4級検定 18名受検 18名認定

5級検定 81名受検 81名認定

3,014名が資格を取得

2003年4月現在の公認指導員・技術認定員数は以下の通りです。

<公認指導員>

特別2名、1級23名、2級63名、
3級114名 総数202名

<技術認定員>

1級12名、2級56名、3級275名、
4級572名、5級1,897名 総数2,812名

第17回日本太鼓全国講習会（静岡県）の案内

期日：2003年6月28日（土）・29日（日）

主催：財団法人日本太鼓連盟

主管：財団法人日本太鼓連盟静岡県支部

会場：国立中央青年の家（静岡県御殿場市）

専門講座

三ツ打太鼓講座……………島田 将嘉氏（石川県）

大太鼓講座……………山内 強嗣氏（静岡県）

ゆふいん源流太鼓講座……………長谷川 義氏（大分県）

基本講座

総合指導……………古屋 邦夫氏（財団技術委員会委員長）

3級基本講座……………安江 信寿氏（石川県）

4級基本講座……………若山 雷門氏（岐阜県）

5級基本講座……………松枝 明美氏（長野県）

羽土 聰氏（岐阜県）

受講料：大人 10,000円（会員9,000円）

小人 9,000円（会員4,500円）

参加費：宿泊する場合 一律 5,000円

宿泊・食事4食・記念写真等

宿泊しない場合 一律 3,000円

食事2食・記念写真等

申込先：（財）日本太鼓連盟静岡県支部事務局

担当：山内 強嗣

Tel.0550-87-3198

Fax.0550-87-3940

振込先：郵便局

口座番号 12370 36897491

名義 財団法人日本太鼓連盟

静岡県支部

第16回日本太鼓支部講習会（長野県）の案内

期日：2003年5月31日（土）・6月1日（日）

会場：諏訪市文化センター

講座：3・4・5級基本講座

申込先：（財）日本太鼓連盟長野県支部事務局 担当：古屋 邦夫 Tel.0266-23-6146 Fax.0266-23-8832

日本太鼓と学校教育—⑬

第5回日本太鼓ジュニアコンクールに出場した北海道夕張太鼓保存会「竜花」の指導者である青木裕行氏より、地域と学校が一緒に実施している町おこしについて寄稿いただきましたので紹介します。

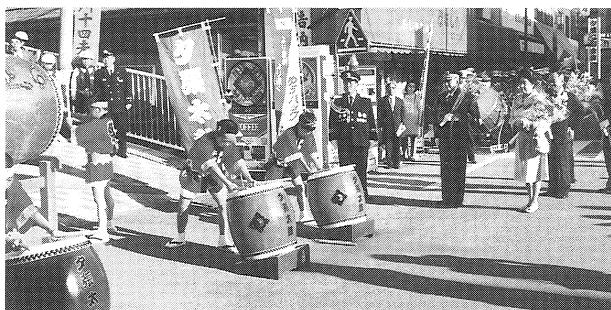
—日本太鼓と町おこし—

「夕張メロン」と言えば、皆さんもご存知かと思いますが、私は「夕張メロン」の銘産地・元炭鉱街の北海道夕張市で活動しています。昨年6月に北海道空知地方の太鼓団体が集まり、北海道道西支部を設立することが出来ました。私が所属している夕張太鼓と夕張市の活動経緯を紹介させていただきます。夕張市は明治24年炭鉱開始以来「炭鉱の街」として栄え、一時は大小24の鉱山、人口が12万人を数え、炭住（棟割長屋）が山の上まで立ち並び、川は石炭で黒く染まり、冬は炭住の煙突から黒い煙を出し栄えておりました。しかし、昭和40年代からは相次ぐ炭鉱の閉山により、今は1万4千人まで減少し、煙突から黒い煙が消え、川もきれいに…。夕張太鼓は、炭鉱が斜陽となった昭和40年代に人々の心を奮い立たせようと、鎮守夕張神社の宮司が炭鉱マンを集めて神楽太鼓の勇壮さを取り入れて考案されました。街の繁栄・炭鉱の安全・炭鉱で働く男を表現して作られ、年に1度の炭山祭りでは、市内地域の30箇所を、朝から陽が沈むまで太鼓演奏をしていました。炭鉱を失った頃は職を求めて夕張を離れる者が多く、会員が減り夕張太鼓の存続が危ぶまれる状況となり、ついに昭和59年には会が解散いたしました。しかし、翌年、市民有志が集まり、夕張太鼓を保存しようと商工会議所が中心となり、市内小中学校への呼びかけに、子供たちが20~30名程度集まりました。それからは、商工会議所のホールを借り、週2回の練習を始め、昭和61年には夕張太鼓保存会を設立、設立1年程で地域行事に参加出来るようになりました。毎年、夕張神社では元旦奉納太鼓（初打ち・初練習）を行い、本年はマイナス17度~20度ぐらいでしょうか、普段と変わらぬ衣装で子供たちが元旦0時から2時間程演奏しました。そして炭山祭り（現夕張神社例大祭）では、昔に比べ地域祭りが20箇所程に減りましたが、現在も毎年各地域で演奏しています。路上では地域の皆さんに声援をいただき、毎年小さな子供がお祭りの太鼓を見て、入会してくるなど、多くの方々に見ていただくことで、会と地域の活性化に繋がるものと考え、演奏活動を続けています。また、最近学校の学習発表会などでも日本太鼓を取り入れる学校が増えてきていますが、以前から私たちの太鼓を使い、発表会で子供たちが手にマメを作り、潰しながらも放課後に一生懸命、太鼓の練習に取り組んでいました。

その当時の子供が、今は社会人となり、昨年夕張

夕張太鼓保存会「竜花」 青木 裕行

市南部で新しく太鼓の会を結成し、自分の育った地域の子供たちを集めて太鼓の指導をしています。今は、私たちも小学1年生から高校生まで40数名程に膨らみ、保護者、大人会員に子供チーム「竜花」を応援していただいている。最近、北海道内の団体とも太鼓を通じて幅広く交流が深まっており、多くの太鼓団体が夕張市のイベントに参加いただき、盛り上げていただいている。平成10年には夕張市復興事業として、世界的に有名なシンセサイザー奏者喜多郎氏のコンサートにおいて、私たち太鼓団体も共演させていただきました。喜多郎氏との出会い、またコンサートを計画・準備いただいた地元関係者のご協力が、私たちの会が活性化されるきっかけとなり、現在に至っています。喜多郎氏に『昔から「ドン」と太鼓が聞こえると、何だろうと、太鼓の音の方へ行きませんでしたか？』『遠くからドン、だんだん近くに行くにつれて、ドン・ドン・ドン・ドン、胸が弾んだでしょう？』と問い合わせられたことがあります。太鼓の音が聞こえると、そこへ興味津々足を運ぶのは幼い頃も今も変わりません。子供たちの演奏の中でも、気合を入れて一打「ドン」と打ち始めた瞬間、鳥肌が立つような感動が何度かあります。その瞬間が、今はとても楽しみです。平成12年には会の興起30周年を記念して、手作りで演奏会を開催しました。会員、保護者、太鼓団体や多くの皆様のご協力をいただき、立ち見している方もいるぐらい多くの方に記念演奏会へ足を運んでいただきました。この30年間に多くの出来事がありました。夕張太鼓解散、保存会設立、成人会員「竜花」設立、打手はこの間に大きく変わり、多くの皆さんに支えられ、地域とともに育ってきました。夕張太鼓結成当時的心意気を忘れぬように、郷土の太鼓を成長させ、そして地域の活性化に繋がれば幸いと思っています。「ドン」で人々を呼べる太鼓、心を打つ太鼓を打てるよう努めています。



(1988年・北海道消防大会で子供たちの演奏を見つめる故・笹川会長ご夫妻)

2003年度に向け各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会～

<理事会・評議員会>

第11回理事会並びに第10回評議員会が2月7日(火)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2003年度事業計画及び収支予算について
2. 役員の選任について

第4期役員は2002年6月に選任されており任期は2004年6月までとなっている。当財団も1997年11月に設立して以来5年を経過しており、今後財団の運営基盤を見直し、さらに強化していくために役員を一部異動したいとの提案があった。ついて検討した結果、全員意義なく、原案どおり可決承認された。内容については以下の通り。

- ① 現在、運営担当の副会長である塩見和子理事について、副会長を退き、理事長に選任する。
- ② 副会長は現状どおり、伝統太鼓担当を池田庄作理事、創作太鼓担当を小口大八理事とする。

<運営委員会>

第17回運営委員会が1月17日(金)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 第5回日本太鼓ジュニアコンクールについて
- ① 予選を実施した26支部の代表ならびに推薦等の出場チーム38団体について状況を説明した。
- ② 出場順番を決めるため、運営委員により厳正な抽選を行い決定した。
- ③ 審査委員候補者を選考し決定した。

- ④ 大会翌日の特別講習会も、これまでと同様に実施することとした。

2. 2003年度事業について

2003年度事業は、資料を基に原案が説明され承認された。また、助成金交付事業の申請内容を検討し決定した。詳細については7ページを参照。

<技術委員会>

第14回技術委員会が1月16日(木)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 公認指導員の昇級について

現在3級公認指導員の小澤勉氏(神奈川県)が2級公認指導員に、1級技術認定員の佐々木一枝氏(秋田県)・安藤王子氏(岐阜県)がそれぞれ3級公認指導員に認定された。

また、神奈川県支部から3級公認指導員への推薦があった加藤修氏(神奈川県)は、全国講習会において、その指導力が認められたため認定された。

2. 公認指導員の推薦について

新規に推薦のあった候補者について検討した結果、いずれも全国講習会において指導力を確認した後、再度検討することとした。

3. 第2期公認指導員更新研修会について

第2期となる更新研修会の実施について検討した結果、前回と同様に全国講習会と併せて実施することとした。詳細については7ページを参照。

役職員一部異動のお知らせ

去る2月7日(火)に開催された第11回理事会での役員の選任並びに4月1日付の職員人事異動により、役職員の構成が以下のとおりとなりました。今後は、時代の流れや、社会の変化に対応し、各種事業を積極的に展開し、日本太鼓の普及・振興に努めてまいります。

《役員構成》

会長 津田 正

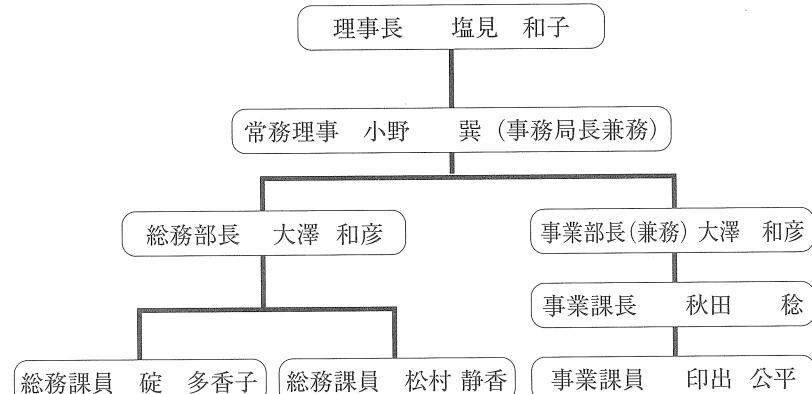
副会長 池田 庄作 (伝統太鼓担当)

副会長 小口 大八 (創作太鼓担当)

理事長 塩見 和子

常務理事 小野 翼

《組織図》



2003年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において審議の結果下記の20事業が承認され、決定いたしました。承認された事業には助成金20万円が交付されます。

- ・フレンドリーコンサート（石川県太鼓連盟）
4月6日（日）・8月23日（土）・12月7日（日）金沢市民芸術村（石川県金沢市）
- ・群馬県こども太鼓フェスティバルかたしな（尾瀬太鼓愛好会）4月29日（火）片品村花の谷公園（群馬県片品村）
- ・第2回奈良県太鼓フェスティバル（奈良県太鼓連盟）6月29日（日）かしら万葉ホール（奈良県橿原市）
- ・第1回全国和太鼓競演大会（山形県太鼓連盟）9月26日（土）・27日（日）山形県総合運動公園（山形県天童市）
- ・千葉県教職員和太鼓実技研修会（千葉県太鼓連盟）8月1日（金）のさかアリーナ（千葉県野栄町）
- ・群馬県教職員和太鼓実技研修会（群馬県太鼓連盟）8月5日（火）県総合体育センター・体育館（群馬県伊勢崎市）
- ・第3回兵庫県太鼓連盟ジュニアフェスティバル兼ジュニアコンクール奈良県大会（兵庫県太鼓連盟）
8月10日（日）福祉会館ふれあい（兵庫県新宮町）
- ・日本太鼓ジュニアコンクール長野県大会（長野県支部）8月24日（日）カノラホール（長野県岡谷市）
- ・日本太鼓ジュニアコンクール岩手県大会（岩手県支部）8月24日（日）キャラホール（岩手県盛岡市）
- ・日本太鼓ジュニアコンクール京都府大会（京都府支部）9月未定 会場未定（京都府）
- ・伝統芸能研究会（秋田県太鼓連盟）9月21日（日）農村環境改善センター（秋田県神岡町）
- ・福井の大鼓フェスティバル（福井県太鼓連盟）9月28日（日）今立町芸術館（福井県今立町）
- ・日本太鼓ジュニアコンクール東北海道大会（北海道道東支部）
10月5日（日）釧路市生涯学習センター（北海道釧路市）
- ・第9回中世の里太鼓まつり（中世の里太鼓まつり実行委員会）10月5日（日）中世の館（青森県浪岡町）
- ・第5回三重県ジュニア太鼓フェスティバル兼ジュニアコンクール三重県大会（三重県太鼓連盟）
10月11日（土）フェニックス通り特設ステージ（三重県津市）
- ・2003年太鼓フェスティバル（札幌太鼓連合会）10月12日（日）ホル・ド・レゼンツ[®]（北海道札幌市）
- ・第4回宮城県太鼓フェスティバル兼第12回東北太鼓フェスティバル（宮城県太鼓連絡協議会）
10月～11月 イズミティ21（宮城県仙台市）
- ・山梨県日米和太鼓交流会（山梨県太鼓連盟）11月2日（日）アメリカ・サンフランシスコ
- ・日本太鼓ジュニアコンクール北海道道西支部大会（北海道道西支部）11月9日（日）会場未定（北海道）
- ・第3回飯坂温泉太鼓まつり（福島県太鼓連盟）3月16日（日）パルセいいざか（福島県飯坂町）

第2期公認指導員更新研修会の案内

規程により3年毎に行われる公認指導員の第2期更新研修会は、下記のとおり2003年度の日本太鼓全国講習会と併せて実施します。対象は2003年3月31日現在、公認指導員としての資格を有している方となります。

1. 第1回更新研修会（第17回日本太鼓全国講習会）

開催日時：6月28日（土）・29日（日）開催場所：国立中央青年の家（静岡県御殿場市）

2. 第2回更新研修会（第18回日本太鼓全国講習会）

開催日時：11月22日（土）・23日（日）開催場所：リステル猪苗代（福島県猪苗代町）

3. 第3回更新研修会（第19回日本太鼓全国講習会）

開催日時：2月14日（土）・15日（日）開催場所：シーハットおおむら（長崎県大村市）

*なお、この研修会に不参加の場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意下さい。

各地のたより

2003年5月4日（日）日本太鼓祭 秩父祭（埼玉県秩父市）<主催：秩父太鼓連盟 会場：秩父ミュージックパーク>
お問合せ：高野美由紀 Tel/Fax.0494-24-2111

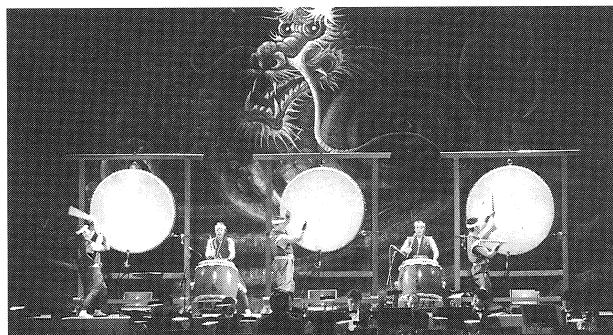
2003年6月8日（日）岩舟武藏太鼓20周年記念コンサート<主催：岩舟武藏太鼓 会場：岩舟町コスモホール>
お問合せ：上敬夫 Tel/Fax.0282-55-4086

2003年6月28日（土）創作太鼓駒の会 第14回定期演奏会（宮城県小牛田町）

<主催：創作太鼓駒の会 会場：小牛田町文化会館>
お問合せ：演奏会専用回線 090-5189-1183 Fax.0229-32-3732

第3回地域伝統芸能まつりに富岳太鼓が出演

3月1日(土)・2日(日)の両日、NHKホールにおいて第3回地域伝統芸能まつりが開催されました。このイベントは総務省及び(財)地域創造が中核となり、平成12年から開始された事業で、日本古来から全国各地に残る地域郷土芸能等の保存と継承、地域活性を主眼において行われています。3月2日のトップバッターとして「太鼓について<太鼓協奏曲>」(作曲:三枝成彰氏、台本:島田雅彦氏)と題し、指揮・大友直人氏、オーケストラ・新日本フィルハーモニー、篠篥・東儀兼彦氏、謡曲・野村万之丞氏とともに富岳太鼓が共演し、好評を得ました。太鼓という楽器の成り立ち、人間と係わった歴史を語る謡曲と日本太鼓のかけあいで始まり、次に日本太鼓の一定のリズムパターンの上にオーケストラのメロディーが流れていきました。これはラベル作曲の有名な「ボレロ」と同じアイディアが生かされているということです。また、日本太鼓の真価を發揮するソロ演奏があり、そこは富岳太鼓に任せられ、力一杯打ち鳴らした太鼓は会場一杯に響き渡っていました。和の持つ「間」と西洋音楽との違い、日本太鼓の大きな音とオーケストラとのバランス等を克服し、演奏を披露した富岳太鼓の皆さんには一番多くの拍手が送られていました。



事務局だより

2003年度事業に多くの方の参加を期待しております

当財団の2003年度主催事業等の開催期日が以下のとおりとなりました。多くの方の参加を期待しております。

2003年 5月22日 (木)

第7回日本太鼓チャリティーコンサート (東京都港区・草月ホール)

2003年 5月31日 (土)・6月1日 (日)

第16回日本太鼓支部講習会 (長野県諏訪市・諏訪市文化センター)

2003年 6月28日 (土)・29日 (日)

第17回日本太鼓全国講習会 (静岡県御殿場市・国立中央青年の家)

2003年 7月11日 (金)

第6回代議員会 (東京都品川区・船の科学館)

2003年 9月6日 (土)

第5回日本太鼓全国障害者大会 (東京都・青山劇場)

2003年 9月20日 (土)・21日 (日)

第17回日本太鼓支部講習会 (京都府・会場未定)

2003年10月12日 (日)

第7回日本太鼓全国フェスティバル (石川県金沢市・石川厚生年金会館大ホール)

2003年11月22日 (土)・23日 (日)

第18回日本太鼓全国講習会 (福島県猪苗代町・リストル猪苗代)

2004年 2月14日 (土)・15日 (日)

第19回日本太鼓全国講習会 (長崎県大村市・シーハットおおむら)

2004年 3月21日 (日)

第6回日本太鼓ジュニアコンクール (岐阜県羽島市・羽島市文化センター)

*なお、詳細等につきましては、ホームページ (URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp>) をご覧下さい。